令和7年度(2学年用) 教科

科目 家庭総合

 教 科: 家庭科
 科 目: 家庭総合
 単位数: 1 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 5 組

教科担当者: (1組:根本) (2組:根本) (3組:根本) (4組:根本) (5組:根本) 使用教科書: (家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍))

教科 家庭科 の目標:

【思考力、判断力、表現力等】家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を移

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を奏う。

科目 家庭総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
び福祉・衣食住、消費生活、環境などのついて 科学的に理解しているとともに、それらにかか	生涯を見通して、家族や地域及び社会における 生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解 決策を構想し実践を評価・改善し、考察したこ とを科学的な根拠に基づいて論理的に表現する など、生涯を見通して課題を解決する力を養 う。	けて課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとす

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	Ⅰ 生産を見過す 【知識及び技能】 生態発達の視点からライフステージの課題と特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 を連解的は年代との自立目標となり、個性に応じたそれぞれ の課題は国や地域、時代など様々な要因によっても変容するこ と考察し共身する。 【学びに向かう力、人間性等】 タイフステージの特徴と課題を主体的にとらえ、追及・解決し ようとする態度を養う。	・指導事項 家庭科の授業の手引き 注意事項 生 涯発達の視点と特徴 ・教材 1章生涯を見通すと2章人生を作る(自立 について)のワークシート ICT教材活用	A 生産を見過す 【知識及け技能】 生態発達の視点からライフステージの課題と特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等。 を建盟附近年代ごとの自立目標となり、個性に応じたそれぞれの課題は国や地域、 時代など酸々な要因によっても姿容することを考察、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージの特徴と課題を主体的にとらえ、追及・解決しようとしている。	0	0	0	1
	助生をつくる 【知識及び状態】 様々な自立があり、自分自身の年代ではどのような自立課題があるか具体的に理解し、家族・家庭と生活の結びつきや社会制度としての家族・家庭を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立について具体的にどのようなことがあるか表現し、自分自身の目標を考える。その意思決定は人生を決めていくので重要から、理解する。 があること考え、理解する。家族家庭について全体的に理解する。 【学びに向から力、人間性等】自立や家族家庭について主体的に追及、解染しようとする態度を奏う。	 ・指導事項 家族家庭の変化と特徴家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る(家族家庭)のワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等 	B人生をつくる 【知識及び技能】 様々な自立があり、自分自身の年代ではどのような自立課題があるか具体的に理解 し、家族、家庭を生活の話びつきや社会制度としての家族、家庭を理解している。 【思考力、判断力、表現内等】 自立について具体的にどのようなことがあるか表現し、自分自身の目標を考える。 その意思於定は人を支於めてい、ので重要であることを考え、理解する。家族家庭 について多角的、歴史的に理解し表現している 【学びに向かう力、人間性等】自立や家族家庭について主体的に追及、解決しよう している。	0	0	0	3
1 学	定期考査						
期	B)、生をつくる 家族・家庭を見つめる 【知識及び状態】 より良い家産生活を実現するために、生活との結びつきを具体 的に理解し、社会制度としての家族・家庭や法律を理解する。 【思考力、判断力、表現内等】 家族家庭について多角的、歴史的に理解する。社会とのかかわ り、家事労働を婚姻の変化など、自身の価値観と共に自己決定 に何が重要か、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】自立や家族家庭について主体的 参角的にに迫及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家族家庭の変化と特徴 家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る(家族家庭)の ワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	B人生をつくる 家族・家庭を見つめる 【知識及び技能】 より良い家庭生活を実現するために、生活との結びつきを具体的に理解し、社会制度としての家族・家庭や社律を理解している。 【思考丸、判断力、表現力等】 家族家庭について多角的、歴史的に理解する。社会とのかかわり、家事労働や婚姻の変化など、自今の価値観と共に自己決定に何が重要か、考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】自立や家族家庭について主体的多角的にに追及、解決しようとする態度を養うい、解決しようとしている。	0	0	0	3
	B人生をつくる これからの家庭生活と社会 【知識及び技能】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域 との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを 考え実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い家庭主活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域 との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを 考え実践する。自己決定に何が重要か、秀貴する。 【学びに向かう力、人間性等】自立や家族家庭について主体的 を角的にに追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家族家庭の変化と特徴 家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る(家族家庭・こ れからの家庭生活)のワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	B人生やつくる これからの家庭生活と社会 【知識及び技能】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解 し、どのような社会を実現すればいいかと考え実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解 し、どのような社会全実現すればいかと考え実践する。自己決定に何が重要か、 考案すできる。 【学びに向から力、人間性等】自立や家族家庭について主体的多角的にに追及、解 決しようとしている。	0	0	0	3
	定期考査			0	0		1
	延済主法を賞む 4、生産の経済生活を見通す 家井のマネシ メント 1 知識及び技能] 生涯安定した経済生活を賞めるように、経済的自立の重要性や 働き力を理解する。 1 提考力、判断力、表現力等] 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計 物構造やリスを踏まえた金銭養金のマネジメントについて順 解考察する。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を見通した家計やリスクを 踏まえた金銭養金マネジメントについて追及、解決しようとす る態度を奏う。	・指導事項 商品・保険 ・教材 9章経済生活を営むのワーク シート 視聴覚DVD活用 ・一人 1 台端末の活用 等	○経済生活を受け、2億人、支払いの 「知識及び比略」 ・生態安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解するしている。 「記考力、判断力、表現力等」 ・生涯を見通して家計セマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて適略等第すできる。 「学びに向かう力、人間性等」と選を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとしている。	0	0	0	3
	(経済生活を営む 4、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジ メント 「知識及び技能] 生態安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や 動き力を理解する。 [思考力、判断力、表現力等] 生態を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計 の構造やリスクを踏ままた金融資産のマネジメントについて理 解等祭する。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を見通した家計やリスクを 踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとす る態度を養う。	 ・指導事項 家計のマネジメント 金融商品・保険 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート ・シート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等 	(経済生活を営む 4、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジメント 【知識及び技能】 生涯改定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解するしている。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見遠して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融費のマネジメントについて理解考察すできる。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとしている。	0	0	0	3

	定期考査						
2 学期	議所生活を営む 2、購入・支払いのルールと方法 【知識及び共能】 性日の生活とは方契約について理解する。販売方法や支払い 方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重 塑性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 住日の生活とは1分契約について理解する。販売方法や支払い 方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重 要性について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】毎日の生活における契約につい で理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 育別がとれるよう。 契約の重要性について理解する。 に対して理解する。 に対している。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	・指導事項 購入・支払いのルールと方法 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	○経済生活を営む 2、購入・支払いのルールと方法 1如識及び注紙! 料理及び注紙! 転日の生紙における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中 責任ある指導行動がとれるよう、契約の重要性について理解するにある。 記書方、判断力、契契力等! 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中 責任ある指導行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。販売方 提出る指導行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。販売方 法や支払い方法が多様化する申報たある指幹行動がとれるよう、契約の重要性について追及、解決しようとする態度を養うしている。		0	0	4
	(孫宗在法を常む 2、購入・支払いのルールと方法 打場職及び非総計 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い 方法が多様はする中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重 要性について理解する。販売方法や支払い 万法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重 要性の立体に対する契約について理解する。販売方法や支払い 方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重 要性について理解する。販売方法や支払い 力法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重 型性について理解する。販売方法や支払い 工理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 で理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 で理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 で理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 で理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 で理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 で理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 で理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費 で理解する。販売方法を受けるいて追及、解決しよう とする態度を養う。	 ・指導事項 購入・支払いのルールと方法 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人 1 台端末の活用 等 	・経済生活を含む 2、購入・支払いのルールと方法 担場扱くび注記 担当の土活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中 責任ある高限行動がとれるよう、契約の重要性について理解するに、 し思考力、判断力、表現功等1 毎日の土活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中 責任ある高限行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。販売方法の表別について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中間を指していて理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中枢上ある指検である。販売方法や支払い方法が多様化する中枢上ある指検である。販売方はで支払い方法が多様化する中枢上ある指検である。	0	0	0	3
	期末考査			0	0		1
	野球の館企生法を客む 1、持続可能な社会を目指して 1組織及け採出 1組織及け採出 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	・指導事項 D持続可能な生活を営む 1、持続可能な社会を目指してのワーク シート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	即発理の能定生法を賞む 1、特裁可能な社会を目指して 担職及び活性。 担職及び活化 7 スタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解 する。特達可能な消費やせいか一生活を理解し、工夫できる。 1 思考力、判断力、表現力等 3 特裁可能なライフスタイルの実現に向けて、身近 な生活と環境とのかかわりを理解する。特裁可能な消費や生活をについて理解等祭 「各びに添かう力、人間性等」料表可能なライスタイルの実現に向けて、身近な 生活と環境とのかかわりを理解する。特裁可能な消費や生活について追及、解決し ようとする態度を持っている。	0	0	0	5
3 学期	時候可能な生活を密む 1、持続可能な社会を目指して 1知職及けば記 1知職及けば記 1知職及けば記 1分のからから世解する。持続可能な消費やせいかつ生活を理 候し、工夫さる。 128考力、判断力、要思力等】 特練可能なライフスタイルの 実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持 候可能な情費や生活をこかて理解等等できる。 129℃に向かうか、人間性等】 現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持 限に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持 現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持 現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続 可能な消費や生活といいて追及、解決しようとする態度を奏 う。	・指導事項 D持続可能な生活を営む 1、持続可能な社会を目指してのワーク シート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	助検理能化生法を営む 1、持続可能な社会を目指して 日知級及び活起 日知級及び活発 日知級及び活発 日本のでは消費やせいかっ生活を理解し、工まできる。 日思考力、判断力、表現力等 1 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを選棒する。特徳可能な清野や生活をについて理解等第できる。 「学び、向かう力、人間性等 1 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と関係とのかかむりを選棒する。特徴可能な消費や生活をについて追及、解決しようとする態度を持っている。		0	0	4
	定期考査			0	0		1 合計 35

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第7章 衣生活 被服製作実習(エプロン,の製作),伝統的な衣服製作を通し、基 礎的な縫製技術を身につける。 製作を通し、衣服の機能・役割、衣 服材料の特徴・性能、伝統を理解す る。	・指導事項 授業のオリエンテーションとエプロン製作の説明・教材 半縫製教材と作業進度シート	【知識・技能】 被服製作実習 (エプロン,の製作),伝統的な衣服 製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 【思考・判断・表現】 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性 能、伝統を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養 う。	0	0	0	6
	第7章 衣生活 被服製作実習(エプロン,の製作),伝統的な衣服製作を通し、基 礎的な縫製技術を身につける。 製作を通し、衣服の機能・役割、衣 服材料の特徴・性能、伝統を理解す る。	・指導事項 授業のオリエンテーションとエプロン製作の説明・教材 半縫製教材と作業進度シート	【知識・技能】 被服製作実習 (エプロン,の製作),伝統的な衣服製作実習 (エプロン,の製作),伝統的な衣服製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 【思考・判断・表現】 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	0	0	0	8
	定期考査					/	
1 学期	■ 日市用いり40分長四の木食町付員、両生	・指導事項 食生活の課題と栄養の基礎 食品 ロス ・教材 食生活のワークシートと演習問題	【知識・技能】 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。 【思考・判断・表現】 栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームブロジェクトなどを行う。 【主体的に学習に取り組む態度】食生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	0	0	0	8
	第6章 食生活 栄養素 日常用いられる食品の栄養的特質、調理 上の性質について科学的根拠から理解す る。栄養・食品の知識をもとに、フード ファディズムなどに惑わされることなく 家族の食事計画をし、調理実習やホーム プロジェクトなどを行う。	・指導事項 食生活の課題と栄養の基礎 食品 ロス ・教材 食生活のワークシートと演習問題	【知識・技能】 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質 について科学的根拠から理解する。 【思考・判断・表現】 栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなど に惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習 やホームプロジェクトなどを行う。 【主体的に学習に取り組む態度】食生活の充実向上を 図ろうとする実践的な態度を養う。	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
	第3章 高齢期 高齢期の心身の特徴,高齢期の健康 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになる。高齢社会の現状と課題について理解する。介護保険制度などの社会保障、地域住民間での助け合いの活動、生社社会などを理解する。介護を必要としている高齢者一人ひとりに応じた介護の必要性と介助の基礎的な知識・技術を身につける。	・指導事項 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活について理解を深め る。 ・教材 高齢期ワークシートと演習問題 DVD視聴	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活として とらえることができるようになる。高齢者の心身の特 徴や生活について理解する。 【思考・判断・表現】 高齢社会の現状と課題について理し考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養 う。	0	0	0	8
	第3章 高齢期 高齢期の心身の特徴,高齢期の健康 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活 としてとらえることができるようになる。高齢 社会の現状と課題について理解する。冷護を 制度などの社会保障、地域住民間での助け合い の活動、生社会などを理解する。介護を必要 としている高齢者一人ひとりに応じた介護の必 要性と介助の基礎的な知識・技術を身につける。	・教材 高齢期ワークシートと演習問題	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活として とらえることができるようになる。高齢者の心身の特 徴や生活について理解する。 【思考・判断・表現】 高齢社会の現状と課題について理し考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養 う。	0	0	0	6
2	定期考査						
学期		・指導事項 子どもの心身の特徴や発達、遊び の意義に関して ・教材 調理実習含む 保育ワークシート 演習問題 DVD視聴	【知識・技能】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、 子どもにとってよい環境について理解を深める。 【思考・判断・表現】 現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団 保育、子育でのための国や地域の社会的支援について 考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】子育での充実向上を 図ろうとする実践的な態度を養う。	0	0	0	6

	第2章 保育 発育・発達、親の役割、子どもの生活・遊び、健 業・安全 子どもの心身の特徴や態速、遊びの意義をとらえ、子どもに とってよい環境について類様を課める。現在の子どもを取り巻 く環境を知り、家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域 会中書 の社会的支援について到棒する。 会中書 現代の食生活におけるをの安全に関する基礎的な知識を学習 し、文化祭も視野に入れて、食品衛生についての理解を深め る。	・指導事項 子どもの心身の特徴や発達、遊び の意義に関して ・教材 保育ワークシート 演習問題 DVD視聴	【知識・技能】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、 子どもにとってよい環境について理解を深める。 【思考・判断・表現】 現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団 保育、子育てのための国や地域の社会的支援について 考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】子育ての充実向上を 図ろうとする実践的な態度を養う。	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
	住居の機能、ライフステージと住空間の計画、 住環境の整備について科学的に理解する。ライ フステージに合わせた安全で快適な住生活を送 るための知識を身につけ、環境にも配慮した住 生活を送るための知識を身につける。住居の平 面図を読みとることができるようになる。	・指導事項 住居の機能、ライフステージと住 空間の計画、住環境の整備につい て ・教材 ワークシート DVD教材	【知識・技能】 住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環 境の整備について科学的に理解する。 【思考・判断・表現】 安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環 境にも配慮した住生活を送るための知識を身につけ る。住居の平面図を読みとることができるようにな る。 【主体的に学習に取り組む態度】住生活の充実向上を 図ろうとする実践的な態度を養う。	0	0	0	8
3 学期	住居の機能、ライフステージと住空間の計画、 住環境の整備について科学的に理解する。ライ フステージに合わせた安全で快適な住生活を送 るための知識を身につけ、環境にも配慮 比住 生活を送るための知識を身につける。住居の平 面図を読みとることができるようになる。	・指導事項 住居の機能、ライフステージと住 空間の計画、住環境の整備につい て ・教材 ワークシート DVD教材	【知識・技能】 住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環 境の整備について科学的に理解する。 【思考・判断・表現】 安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環 境にも配慮した住生活を送るための知識を身につけ る。住居の平面図を読みとることができるようにな る。 【主体的に学習に取り組む態度】住生活の充実向上を 図ろうとする実践的な態度を養う。	0	0	0	6
	定期考査			0	0		合計 70

年間授業計画

東京都立府中工科高等学校

家庭科 科目 フード・デザイン

単位数: 2 単位

 令和7年度(3学年用)
 教科

 教科: 家庭科
 科目: フード・デザイン

 対象学年組:第3学年1組~5組
 5組

 教科担当者: (1組:根本)
 (2組:根本)

 使用教科書: (フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)

 教科 ファロリー・
 (4組:根本) (5組:根本)

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 健康と食生活 食事の意義や職を取り巻く状況を理 解し、食生活の課題を把握する。 1年間の取り組みの関するガイダン スを受けて、評価の基準等を理解す る。 実習の材料を調達する。	・指導事項 授業の手引き 注意事項シート・数材1章のワークシート ICT数材活用 DVD視聴	【知識・技能】 食事の意義や職を取り巻く状況を理解し、 食生活の課題を把握する。 【思考・判断・表現】 ガイダンスを受けて、評価の基準等を理解す る。目標を設定する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	6
	B 栄養素と食品 栄養素の働きや体での消化吸収の仕 組みなどを理解し、各栄養素の概略 を分担してレポートを作成する。簡 単な実習を通じて食品の特徴や調理 の科学についてレポートをこなして いく。	・教材 2章のワークシート	【知識・技能】 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みなどを理解し、各栄養素の概略を理解する 【思考・判断・表現】 簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学についてレポートをこなしまとめの力量を養う 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	8
1 学	定期考査						
	B 栄養素と食品 栄養素の働きや体での消化吸収の仕 組みなどを理解し、各栄養素の概略 を分担してレポートを作成する。簡 単な実習を通じて食品の特徴や調理 の科学についてレポートをこなして いく。	・教材 2 章のワークシート	【知識・技能】 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みな どを理解し、各栄養素の概略を理解する 【思考・判断・表現】 簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学 についてレポートをこなしまとめの力量を養 う 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	8
	B 栄養素と食品 栄養素の働きや体での消化吸収の仕 組みなどを理解し、各栄養素の概略 を分担してレポートを作成する。簡 単な実習を通じて食品の特徴や調理 の科学についてレポートをこなして いく。レポート発表を行い、そのメ モをとり、提出する。	・教材2章のワークシート 期末考査あり ICT教材活	【知識・技能】 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みな どを理解し、各栄養素の概略を理解する 【思考・判断・表現】 簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学 についてレポートをこなしまとめの力量を養 う 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
	C 調理実習と食品の取り扱い 安全性・栄養性・おいしさの向上を 目指した調理の背景と器具や操作に 関する知識を学び、実習にて確認す る。 食品選択や衛生に関する知識 を学び、理解度をワークにて確認す る。	・教材 3章のワークシート 簡易テスト あり ICT教材	【知識・技能】 安全性・栄養性・おいしさの向上を目指した調理の背景と器具や操作に関する知識を学び、実習にて確認する。 【思考・判断・表現】 理解度をワークにて確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	8
	C 調理実習と食品の取り扱い 安全性・栄養性・おいしさの向上を 目指した調理の背景と器具や操作に 関する知識を学び、実習にて確認す る。 食品選択や衛生に関する知識 を学び、理解度をワークにて確認す る。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート・教材 3章のワークシート 簡易テスト あり ICT教材 活用 DVD視聴	【知識・技能】 安全性・栄養性・おいしさの向上を目指した調理の背景と器具や操作に関する知識を学び、実習にて確認する。 【思考・判断・表現】 理解度をワークにて確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	6

2	定期考査						
学							
期	る。 食品選択や衛生に関する知識	 ・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 3章のワークシート 簡易テスト あり ICT教材 活用 DVD視聴 	【知識・技能】 安全性・栄養性・おいしさの向上を目指した調理の背景と器具や操作に関する知識を学び、実習にて確認する。 【思考・判断・表現】 理解度をワークにて確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	8
	D 食育と食育推進活動 食育と食文化・環境とのかかわりを 理解し、食品ロスなどのごみ問題か ら世界的な課題と日常の食生活のか かわりを考察し、実践的に食にかか わる意欲と技術向上に努める。	・教材 6章のワークシート	【知識・技能】 食育と食文化・環境とのかかわりを理解し、食品ロスなどの ごみ問題から世界的な課題と日常の食生活のかかわりを理解 する。 【思考・判断・表現】 食の課題と日常の食生活のかかわりを考察し、実践的に食に かかわる意欲と技術向上に努める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
	D 食育と食育推進活動 食育と食文化・環境とのかかわりを 理解し、食品ロスなどのごみ問題か ら世界的な課題と日常の食生活のか かわりを考察し、実践的に食にかか わる意欲と技術向上に努める。	・教材 6章のワークシート	【知識・技能】 食育と食文化・環境とのかかわりを理解し、食品ロスなどの ごみ問題から世界的な課題と日常の食生活のかかわりを理解 する。 【思考・判断・表現】 食の課題と日常の食生活のかかわりを考察し、実践的に食に かかわる意欲と技術向上に努める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	6
学期	D 食育と食育推進活動 食育と食文化・環境とのかかわりを 理解し、食品ロスなどのごみ問題か ら世界的な課題と日常の食生活のか かわりを考察し、実践的に食にかか わる意欲と技術向上に努める。	・教材 6章のワークシート	【知識・技能】 食育と食文化・環境とのかかわりを理解し、食品ロスなどの ごみ問題から世界的な課題と日常の食生活のかかわりを理解 する。 【思考・判断・表現】 食の課題と日常の食生活のかかわりを考察し、実践的に食に かかわる意欲と技術向上に努める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	0	0	0	6
	定期考査			0	0		合計 70